

# 授業科目 摂食・嚥下障害学

【担当教員名】 今井 信行、西尾 正輝		対象学年	2	対象学科	言語
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	○	○
【概要・一般目標：GI0】 摂食・嚥下障害について、関連器官の解剖学的形態、運動様式を把握し、機能障害の発症原因を理解するとともに、検査・評価方法、診断方法、治療・訓練方法について修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1、摂食器官の構造と各器官の運動様式を理解する</li> <li>2、嚥下器官の構造と各器官の運動様式を理解する</li> <li>3、食物の認知機構を理解する</li> <li>4、咀嚼運動、嚥下運動に関して各関連器官の協調運動を理解する</li> <li>5、摂食・嚥下障害の発症原因と、発現する機能障害を理解する</li> <li>6、摂食・嚥下障害の検査・機能評価方法と診断方法を理解する</li> <li>7、摂食・嚥下障害の治療・訓練方法を理解する</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	摂食・嚥下に関連する器官の形態、感覚、運動				講義
2	口腔内の食物認知と咀嚼運動の制御機構				講義
3	嚥下運動の制御機構				講義
4	摂食・嚥下障害の発症要因と機能障害の分類 1				講義
5	摂食・嚥下障害の発症要因と機能障害の分類 2				講義
6	摂食・嚥下障害の発症要因と機能障害の分類 3				講義
7	摂食・嚥下障害の発症要因と機能障害の分類 4				講義
8	摂食・嚥下障害の検査・診断の概要				講義
9	問診				講義, 演習
10	スクリーニング検査 1				講義, 演習
11	スクリーニング検査 2				講義, 演習
12	精密検査 1				講義, 演習
13	精密検査 2				講義, 演習
14	精密検査 3				講義, 演習
15	摂食・嚥下障害の治療・訓練法の概要				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		よくわかる摂食・嚥下のメカニズム	山田好秋	医歯薬出版	2013・3,800円＋税
		摂食・嚥下障害の患者さんと家族のために 1巻 総合編	第 西尾正輝	インテルナ出版	2008・1,050円
参考書		摂食・嚥下リハビリテーション 第2版	才藤栄一、向井美恵	医歯薬出版	2007・7,200円＋税
		言語聴覚士のための摂食・嚥下障害学	倉智 雅子	医歯薬出版	2013・4,400円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、定期試験			【履修上の留意点】		